

# NPO法人 相馬フォロアーチーム NEWS\*LETTER 3・4月号

2017年度  
vol.08

発行日 平成30年4月1日

あたたかい春の日差しが気持ちの良い季節となりました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？東日本大震災から7年目を迎えました。震災の記憶とともに生きていく地域の皆さんに支えられ活動ができていることに深謝します。

さて、NL3・4月号では、相馬フォロアーチームの「これまでのあゆみ」と「理事長挨拶」をお届けいたします。どうぞご覧くださいませ。

## これまでのあゆみ

平成23年3月11日、14時46分、三陸沖を震源とするM9.0、震度6弱の地震が発生しました。すぐに、大津波警報が発令され、地震の約1時間後の15時50分頃に、相馬市の沿岸部に大津波が到来しました。

津波は、沿岸の堤防を乗り越えました。気象庁からは高さ9.3メートル以上の津波と発表されましたが、地元の方々の話では、松川大橋を越える12メートル以上の津波が押し寄せたと言われています。津波は海岸から約3.7キロメートル離れた国道6号線バイパスまで到達したのです。原釜、尾浜、松川、磯部などの集落が波にのめられました。相馬市では450人を越える方々が亡くなり、住宅は5,584棟が被害に遭いました。そして、相馬市から約45キロメートル離れた双葉郡大熊町にあった東京電力第一原子力発電所での忌々しい放射能事故が発生したのです。

震災および原発事故直後に立谷秀清相馬市長は、「子どもたちのPTSD（心的外傷後ストレス障害）が何より心配だ」と、心のケアを支援してくださる方々を広く全国に求めました。

全国から本市の支援に賛同してくださる臨床心理士や保健師等の方々が次々に集結し、平成23年4月末にこの「相馬フォロアーチーム」が結成されました。同年6月2日には、NPO法人化され、その後約7年間、津波被災4校および子どもアート・メゾンでの相談活動、市内小中学校における心理的な緊急対応、そしてニュースレターやホームページを通しての広報活動等を行ってきました。

これまでのスタッフはのべ28名。熱い心と冷静な目をもって対応してまいりました。

平成23年4月に相馬フォロアーチームが発足して以来、津波被災4校の児童・生徒、保護者、地域の方々の取り組みや頑張り取材して紹介し、相馬市の復旧や復興を見守り続けてきました。ニュースレターを継続的に発行することを通して、相馬フォロアーチームの取り組みや考えを伝えるとともに、コラムなどの掲載から、読者に対して安心感や自己肯定感を与え、前向きに、ポジティブに考えることができるような心理的なアプローチも行ってきただけです。

平成25年12月に事務所を生涯学習会館からLVMH子どもアート・メゾンに移して活動を進めるようになったことで、子どもアート・メゾン内での相談も充実し、広く市民の方々の子育てに関する悩みに応えてまいりました。現在では年間相談件数が400件に上っています。



## 理事長挨拶

震災から7年の月日が経とうとしていますが、私はいまだに年賀状を書くことができません。謹賀新年と書けないのです。震災から3年程は、亡くなった子どもたちのことを考えると、所をわきまえず涙を流してばかりいました。自然の巨大な仕組みに関しては、水の循環に関わる現象は嫌悪の対象でした。雨や風、気圧の変動を呼び起こす海や水分の蒸発、潮の満ち引き、夕焼け空さえ見れば胸がむかつきました。今はすっかり過剰な反応は落ちつきましたが、頭の上に乗せた慣れという帽子をとれば心の底に何がうごめくかは判りません。

高校時代に自分なりに確立した汎神論、「存在は全て神の顕れである」に基づいて74才の現在まで生きて来ました。従って今度の震災に関して、特に子どもたちの死に関しては随分神様を非難攻撃しました。しかしながら相馬市もあの悲惨な状態から立ち直り、震災前のように復旧しつつあります。また、農業、漁業、商業、サービス業などの産業を見ても、十分とは言えませんが、市民の不屈の精神で、全国の方々の応援で大きく復興を成し遂げようとしています。津波被災4校においても、震災直後の混乱期を脱し、少しずつではありますが、落ち着きを取り戻しつつあります。

毎号、レターが届くのを楽しみにしている方々は多くみられます。その一方で、「震災から〇年が過ぎたので、もう結構ですよ」と、送付を遠慮される方々もみられるようになりました。市や地域の復旧や復興を目の当たりにして、発足当初のニュースレターの担っていた「津波被災4校の子どもたちや保護者、地域の方々を励ます」という任務はほぼ果たした感があります。

相馬フォロアーチームのニュースレターは、今号をもって一区切りとさせていただきます。今後は、ホームページを充実させるなどして、活動の状況をお伝えしていきたいと思えます。

NPO法人相馬フォロアーチーム 理事長 羽根田万通

## 訪問活動日

相馬フォロアーチームでは、カウンセラーが児童生徒の心のケア活動、教職員や保護者への相談活動を行っております。

場所	2・3月の訪問日等
中村二小	2月: 5,6,7,13,14,19,20,21,26,27,28日 3月: 5,6,7,12,13,14,19,20,23日 (月1回の世界の医療団派遣を含む)
中村二中	2月: 5,6,8,13,15,20,22,27日 3月: 1,6,8,13,19,22日
磯部小	2月: 7,14,21,28日 3月: 9,14,23日
磯部中	2月: 1,15,22日 3月: 2,13,22日

内容	2・3月の件数
アート・メゾンでの相談等	2月: 49件 3月: 39件
その他(関係機関との連携、訪問派遣等)	2月: 39件 3月: 28件

## お問い合わせ

お子さまのことで、ご心配なことはありませんか？

相談室にて、無料の相談を承っております。下記までお気軽にご連絡ください。

〒976-0042  
福島県相馬市中村2丁目2-15  
LVMH子どもアート・メゾン  
Tel: 0244-35-6200  
Fax: 0244-35-6215  
Mail: [sft@soma-ft.org](mailto:sft@soma-ft.org)  
HP: <http://www.soma-ft.org/>

